

# 臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 22 年 4 月

A-10-05

## 「胃癌取扱い規約改訂」に伴うお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて この度 本年 3 月に「胃癌取扱い規約」が改訂され、胃生検組織診断分類(Group 分類)の記載方法がローマ数字から算用数字に変更となり、また Group2 の内容が大幅に変更されました。

これに伴い、病理診断「胃癌」報告形式を下記に変更させていただきますので、ご案内申し上げます。

何卒ご了承賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

- ◆ 変更日 平成 22 年 5 月 7 日 (金) 報告分より
- ◆ 変更内容 病理診断報告書・胃生検組織診断分類(Group 分類)の記載方法

〈新報告形式〉

Group	組織診断内容
1	正常組織および非腫瘍性病変 (化生、再生異型上皮、過形成などを含む)
2	腫瘍性(腺腫または癌)か非腫瘍性か判断の困難な 病変(癌を有する可能性のある症例も含まれる)
3	腺腫
4	腫瘍と判断される病変のうち癌が疑われる病変 (腺腫か癌か鑑別できない病変も含む)
5	癌
X	不適材料

〈旧報告形式〉

Group	組織診断内容
I	異型を示さない胃固有粘膜、腸上皮化 生粘膜、再生性上皮、過形成性上皮
II	びらんや潰瘍による再生や変性に基づ く異型を示す粘膜
III	持続性の病変とみなされる異型性上皮 (良性・悪性境界病変)
IV	癌が強く疑われるが確定診断を下しえ ない病変
V	癌

以上